



2001年10月23日

ドイツ フォルクスワーゲン ニュービートル カップ最終戦 日本人選手健闘

さる10月14日(日)、ドイツ ザクセン州 オッサーズレーベンにて、フォルクスワーゲン ニュービートル カップの最終戦が開催され、今年も昨年に引き続き、ニュービートル カップ ジャパン 2001で2連覇を果たした、ゼッケン77番 D-Speed モデルビートルの山本将之選手と、同じくフォルクスワーゲン レーシングGTI カップのシリーズ優勝者 安井謙治選手の2名が参戦。強豪ひしめくなか善戦し、24台出走する中16位、17位と健闘しました。

昨年、粘りとクレバーなレース展開で、初戦にして4位と言う快挙を成し遂げた山本選手は、今年で2年目の参戦。一方、安井選手は初めての挑戦でありながら、慣れないコースとカップカーを上手く操り、オッサズレーベン サーキット16周で行われた決勝戦で、2名ともに完走を果たしました。特に今回の最終戦では、日本から参加した2名の日本人ドライバーの他、オーストラリアで開催されているニュービートル カップに参戦している2名のレーシングドライバーと、ドイツ国内のミュージック シーンで人気ナンバーワンのラップ アーチスト1名を加えた5名のゲストドライバーが参戦するという国際的なレースとなりました。

スタート直後のストレートで、後ろから押し出されたカップカーがいきなり横転するという激しい展開の中、山本選手も他車に接触されコースアウト。一時は20位まで順位を落とし、更にブレーキトラブルを抱えながらも激しい追走を見せ、16位まで順位を挽回する一方、安井選手は予選22番手という不本意なポジションから見事なロケット スタートを決め、一気に3台を抜き去ると、ほぼ満員の観客から大きな歓声が上がりました。

その後も激しいクラッシュが続出したレース展開の中、着実に順位を上げる山本選手と派手なドリフト走行を披露する安井選手は、見事、オッサズレーベン16周を完走し、ゲストドライバー中トップと2番手という成績でレースを終了。日本人ドライバーとして、今年も堂々とした印象的な走りとその実力を見せつけました。

本年度のドイツ国内及び、日本のニュービートル カップは、これによってシリーズ全戦を終了。12月には今年の総括としてのシリーズ表彰式が開催される予定です。